



定時総会 会場風景

令和8年度 公益社団法人 福岡県美術協会定時総会報告

令和8年6月20日(土)
福岡リーセントホテル

小雨模様の6月20日(土)、福岡リーセントホテルを会場に、令和8年度公益社団法人福岡県美術協会定時総会が開催された。正会員総数758名に対し、出席者142名、委任状参加者253名、議決権行使171名、正会員総数の過半数に達する合計566名の出席を得て、定款第18条第1項の定足数を満たし総会は成立し、午後2時、鐘ヶ江副理事長の開会宣言で定刻に開会。

令和7年度から当日まで連続が入った逝去者9名に対し、哀悼の意を込め黙祷が行われた。その後、片山事務局長の司会、嘉村事務局参与の進行サポート、日本画部 徳永特任事務局員、洋画部 田浦特任事務局員、写真部 小林特任事務局員、洋画部 野出会員の場内誘導補助及び救護対応により総会は進められた。

宇田川宣人理事長の挨拶では、昨年度の県展、シニア美術展等活動について総括、福岡県、福岡県教育委員会との連携による令和11年予定の新美術館開館に向けての展望等が述べられた。

続いて来賓及び協会顧問、名誉会員の紹介。代表して福岡県市町村・地域振興部文化局長 市村智子様、福岡県教育庁教育振興部社会教育課長 比山裕隆様、福岡県立美術館館長 日高公德様及び福岡県議会議員 今林久様よりご挨拶を頂いた。

議事に先立ち、議長を務める宇田川理事長より、書部 矢野菜山理事、写真部 西村美代子理事に議事録署名人が委嘱され、書記には洋画部の重富貞美事務局員、彫刻部の原谷明広事務局員、記録撮影は写真部の山崎政男事務局員が任命された。

続いて議事に入り、下記の通り進められた。

【報告事項】 令和7年度事業報告及び法人管理報告
【審議事項】 令和7年度決算の承認、南谷公認会計士による補足説明、筒井監事による監査報告がなされ承認

【報告事項】 令和8年度事業計画及び収支予算
続いて会員の異動について報告があり、令和7年度新会員39名が紹介され、一言ずつ抱負が述べられた。会員在籍40年表彰では対象者4名が紹介され、洋画部江口登会員が挨拶を述べられた。

最後に倉橋専務理事の閉会宣言と共に午後4時総会は無事終了した。
その後、部会総会、続いて10年ぶりの合同懇親会が開催された。

(文責・片山事務局長)

ご来賓祝辞



福岡県市町村・地域振興部
文化局長
市村 智子

令和8年度公益社団法人福岡県美術協会定時総会が、多くの会員の皆様の御出席のもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

福岡県美術協会におかれましては、長きにわたり、本県の文化芸術の発展に多大なる御貢献をいただいております。県展をはじめとする数々の展覧会の開催や、地域での普及活動など、皆様の絶え間ない取組は、本県のアートシーンを支える大きな柱となっております。宇田川理事長をはじめ、会員の皆様の日ごろの活動と御尽力に、心より感謝申し上げます。さて、福岡県は、今年度、文化行政をさらに充実すべく、新たな一歩を踏み出しました。

文化芸術が持つ力で、心豊かで活力ある「ふるさと福岡」を築いていくため、新たに『文化局』を設置し、美術はもとより、音楽や舞台芸術、伝統芸能など、文化芸術の更なる

ご来賓祝辞



福岡県教育庁教育振興部
社会教育課長
比山 裕隆

公益社団法人福岡県美術協会におかれましては、福岡県美術展覧会をはじめ、県民が日常的に芸術に触れる機会を創出されるなど、日頃から本県の文化芸術の振興に多大なる御貢献をいただき、心より感謝申し上げます。

また、会員の皆様の日々の協会運営と芸術普及活動への御尽力に対し、深く敬意を表します。

昨年度は、宇田川宣人理事長が、永年にわたる芸術活動と地域文化の振興への御功績により、「地域文化功労者文部科学大臣表彰」を受賞されました。この度の栄誉を謹んでお祝い申し上げますとともに、今後のさらなる御活躍をお祈りいたします。

さて、広く県民に「県展」の愛称で親しまれている福岡県

振興を図ってまいります。

また、新たに50億円の「福岡県文化芸術振興基金」を創設いたしました。

子どもたちが素晴らしい芸術に、ここ福岡で触れることができるよう、「世界水準の芸術の誘致」や、明日の福岡の文化芸術を担う「人材の育成」など、未来への投資に活用してまいります。

さらに、新福岡県立美術館につきましては、皆様御承知の通り、先月起工式を執り行ったところです。新しい美術館は、誰もが安心して美術活動に参加できる「ユニバーサルミュージアム」としての機能を備え、単なる作品の展示場にとどまらず、人と作品、人と人をつなげ、創造的な時間が生まれる「文化の創造・交流拠点」となることを目指しております。

新しい美術館やこれからの新しい歩みを、県民の皆様が愛されるものにしていくためには、会員の皆様の温かいお力添えが欠かせません。これからも皆様と共に、福岡の文化芸術の未来を彩ってまいりたいと心より願っております。

結びに、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様方の更なる御健勝、御活躍を心からお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。

美術展覧会は、今年度で第81回目を迎え、長い歴史を紡いでこられました。今回「高校生世代奨励賞」を新設されるなど、近年は若い世代の活躍に向けた様々な取組を実施されておられます。そうした中、幅広い世代から数多くの芸術性の高い素晴らしい作品が寄せられていることは、貴協会のこれまでの取組が県民の芸術活動を活性化させている証しであると実感しております。

昨今、急速な社会の変化に伴い、人々の価値観も多様化しています。しかし、変化の激しい時代だからこそ、芸術の門戸を広く開き、人々の創造性を育む「芸術の力」がこれまで以上に求められています。

県教育委員会といたしましては、貴協会がこれまで築き上げてこられた文化芸術の土壌を、皆様とともに守り、さらに発展させてまいりたいと考えております。今後とも、格別の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、福岡県美術協会の更なる御発展と、会員の皆様のご多幸、御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。